



# 愚陀佛庵オープンについて 一資料一



令和8年5月12日(火)

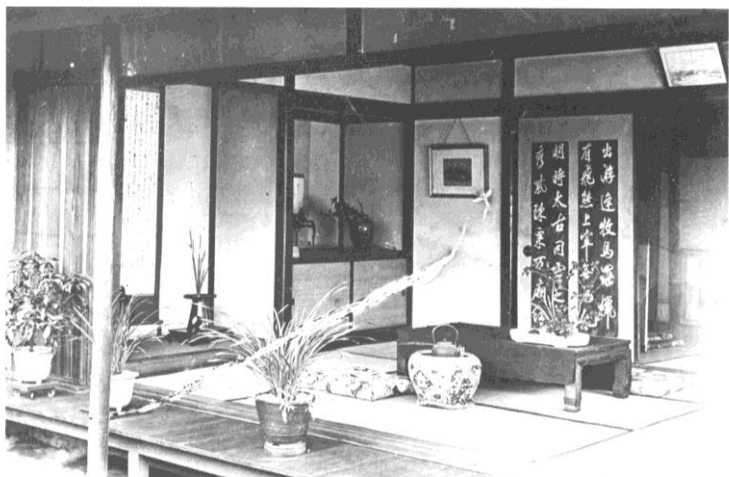
# 1. 再建の趣旨

## 文学のまち

- ▶ 松山市は、全国に誇れる「文学のまち」として、さまざまな取組を押し進めてきました
  - ・インターネット俳句投稿サイト「俳句ポスト365」の開設(H25～)
  - ・「俳都松山宣言」(H26～)
  - ・坊っちゃん文学賞を「ショートショート」へリニューアル(R元～)
  - ・安藤忠雄さん寄贈「こども本の森 松山」の整備(R7～)

## 節目

- ▶ 令和7年は、漱石の松山中学校赴任、愚陀佛庵で子規との52日間の共同生活から130周年
- ▶ 令和8年は、小説『坊っちゃん』発表から120周年の節目



# 1. 再建の趣旨

漱石と子規が共に暮らした唯一の場所  
近代文学史上大きな価値を持つ「愚陀佛庵」を再建

「文学のまち」や「俳都松山」の象徴として、新しい魅力を発信し、賑わいを作り出す



当時に近い姿や佇まいを再現し、文学的・歴史的価値を引き継ぎつつ、憩いの場として気軽に立ち寄れ、広く親しまれる施設を目指します。

## 2. 施設の概要

### 再建場所

番町小学校 プール跡地 (松山市二番町4丁目6番地1)

### 面積

敷地面積 約480m<sup>2</sup>

建築面積(庵)約64m<sup>2</sup> (母屋)約172m<sup>2</sup>

### 建物構造

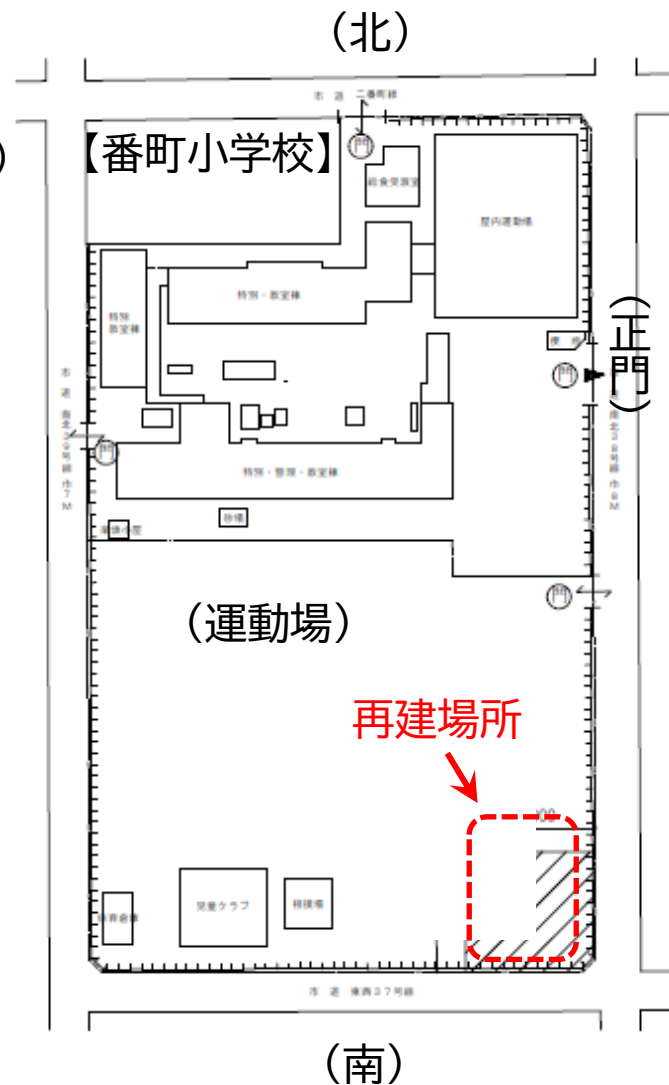
(愚陀佛庵／母屋ガイダンス棟) 木造2階建  
(付帯施設) 中庭、イベントスペースなど

### 完成時期

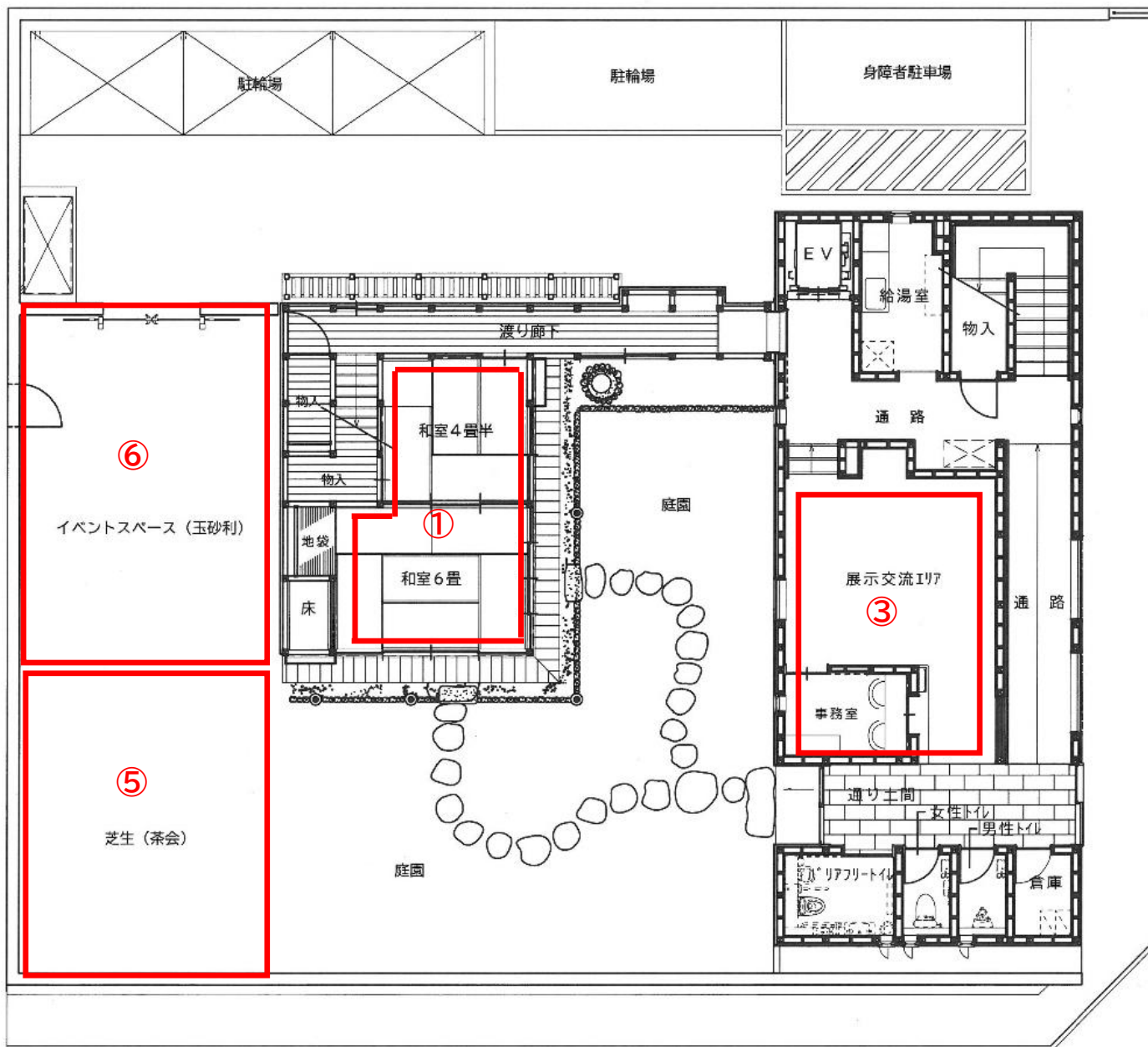
令和8年7月

※令和7年9月 工事開始 ~ 令和8年6月末 完成予定

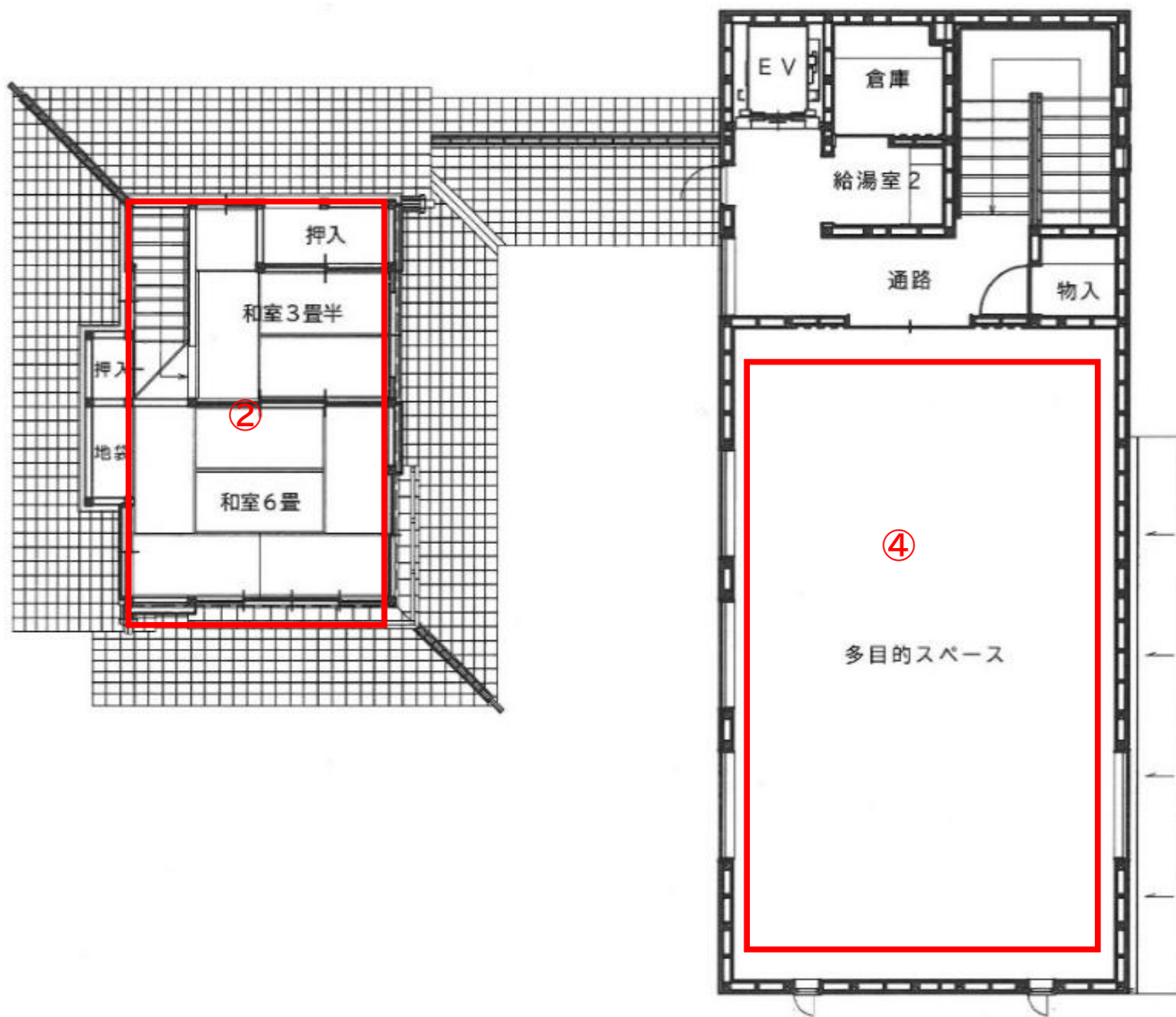
※令和8年7月 備品など搬入予定



# 3. 貸室・展示の概要 (平面図 1階)



### 3. 貸室・展示の概要（平面図 2階）



### 3. 貸室・展示の概要（利用）

各室・スペース	貸室	使用料 (1時間)	活用方法の例	内容など
①愚陀佛庵 1階 和室	●	800円	句会、茶会など	○当時の姿や佇まいをできる限り再現 ○二人が暮らした頃の雰囲気を感じられるような仕上げ
②愚陀佛庵 2階 和室	—	—	観覧自由	
③母屋ガイダンス棟 1階 展示交流スペース	—	—	観覧自由	○デジタルサイネージやイラストパネルを活用し、漱石と子規の交流をはじめ、ふるさとの文化人たちとのつながりを分かりやすく展示 ○市内中心部に点在する文化史跡を紹介 ○オリジナルグッズを販売予定
④母屋ガイダンス棟 2階 多目的スペース	●	1,200円	講演、研修会など	○小規模な音楽発表会などさまざまな催し ○貸室時以外は休憩スペースで無料で利用可
⑤屋外 芝生広場	●	300円	茶会など	○イベントなどで一体的な利用も可
⑥屋外 イベントスペース	●	350円	茶会など	

★入場料は無料 貸室の使用がない場合は、どこでも自由に観覧できます

#### 庵

1階:6畳、4畳半  
2階:6畳、3畳半

#### 母屋ガイダンス棟

1階:展示交流エリア、事務室、通り土間、給湯室、トイレ  
2階:多目的スペース(60㎡)、給湯室

## 4. 活用策

### 「文学のまち」のはじまりにふれる

- 建物の外観や内装、中庭などに触れ、当時の姿や佇まいを体感できます
- 庵の1階は貸し出しし、句会や茶会などで利用できます

### 「文学のまち」を効果的に学ぶ

- パネル展示をはじめ、街歩きツアーを充実するほか、市内中心部に点在する文学史跡や生家跡などをつなぐため、マップやデジタルサイネージを活用します
- 文学のまち、俳都松山の歴史や史跡をこどもから大人まで、幅広い世代が効果的に学べるようにします

### 「文学のまち」での交流・発信

- 句会や茶会などの文化的活動から教育的活動まで、さまざまな講座やイベントを通じて、日常的に人が交流できます
- 文学のまちを広く発信し、憩いの場として気軽に立ち寄れ、広く親しまれる空間にします
- 東京の子規庵や漱石山房と連携します

# 5. オープンイベント 令和8年7月24日(金)午後1時オープン

## プレイベント 1日目

日時: 令和8年7月3日(金) 午後1時35分～午後2時20分  
場所: 番町小学校 4階 多目的ルーム  
対象: 小学4年生から6年生 150人程度  
内容: 入船亭扇白さんの創作落語「のぼさんと野球」など

## プレイベント 2日目

日時: 令和8年7月4日(土) 午後1時30分～午後3時  
場所: 子規記念博物館 4階 講堂  
対象: 一般募集 300人程度  
内容: 入船亭扇白さんの「落語会」 ※子規にまつわる創作落語「のぼさんと野球」など  
愛媛大学教授 青木亮人さんの「講演会」 ※漱石と子規の愚陀佛庵での生活や交流が、  
日本の文学史にどのような影響を与えたかなど



## オープニングセレモニー

日時: 令和8年7月24日(金) 午前10時～ ※午後1時～一般入場  
参加者予定: 熊本市長、新宿区長、松山坊っちゃん会、松山子規会、番町小児童ほか関係者  
内容: あいさつ、記念撮影、内覧会など

## 再建記念イベント

日時: 令和8年7月26日(日) 午後1時～午後2時30分  
内容: 俳人 夏井いつきさん(俳都松山大使)と俳人 家藤正人さんを迎え「リモート句会ライブ」

# 【参考】 さまざまな縁(ゆかり)

## 建設地とのゆかり

- 番町小学校は子規や柳原極堂、高浜虚子、河東碧梧桐の母校で、校内に「子規旅立ちの像」が建っています。
- 全国初、子規派の地方結社「松風会」の当初の会員は、番町小学校の前身、松山高等小学校教員達で深い縁があります。

## 周辺施設とのゆかり

- 子規や碧梧桐生誕地、虚子住居跡、漱石が赴任した松山中学校跡など、この狭い範囲に松山の文化、俳句のルーツが詰まり、その中心に位置します。
- 共に過ごした子規と漱石、日参した文学者達と深い縁があります。

## 中心部の賑わいへの期待

- 文化活動や教育活動はもちろん、多様なイベントで集客力を高めます。
- まちの回遊性が高まり、新たな賑わい、地域経済への波及が期待できます。

